

研究課題番号	2RF-1701
研究課題名	全球非静力学モデルを用いたアジア域におけるスーパー台風の温暖化応答に関する研究
研究実施期間	平成 29 年度～令和元年度
累計予算額	17,901 千円
研究機関名	国立研究開発法人海洋研究開発機構
研究代表者名	小玉 知央

1. 評価者の指摘及び提言概要

温暖化による大型台風などの激甚災害は深刻であり、緊急かつ社会的ニーズが高い課題に対して、「台風発生数は全球で減少・特に北西太平洋と南太平洋で顕著」「スーパー台風発生数は全球で増加・日本とその南海上におけるスーパー台風頻度はやや減少傾向・強い台風に伴う強風域は拡大」等、明確な回答を導出した。

アジア域を中心とした適応策のためにも、信頼性の高いスーパー台風の予測結果ができたことは評価できる。温暖化適応策に貢献したとは言えないが、CMIP6 HighResMIP への参加を通じた国際研究協力への貢献があった。

2. 評点

総合評点：A